

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はり・きゆう臨床実習2	実習	1	45	本科目以外のすべての科目が関連いたします。
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 2学年	竹村千冬・川口拳・伊藤菜里	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	附属臨床施設鍼灸(接骨)外来担当での実務から、臨床の場面での疾患治療に必要な知識及び技術を学びます。		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>現代医学的身体診察技能を身に付ける。 把握した症状・所見に基づく推定診断を説明できる力を身に付ける。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>関節可動域検査(ROM)、徒手筋力検査(MMT)、その他の徒手検査(神経学的、整形外科的)などの検査法の実習ならびにその基礎となる知識の定着を行います。更に、診療記録や物理療法などについても機会を見て触れていく予定です。</p> <p>手元にある教科書は科目問わず、履修したか否かに関わらず、必ず一読して予習しておくことを推奨します。実習の現場では、教科書などのかさばる物は現実的にはそう多くは持ち込めず、時間的にも現場で書籍を開いている余裕もないでしょう。</p> <p>そのため、手のひらサイズの手帳などに分り易い形でまとめ直して持参し授業に臨むと良いかと思われます。</p>					
教科書・参考書					
必要に応じて都度案内します。					
受講時留意点、その他					
<p>【全科目受講時共通事項】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡し下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0				
その他	100	レポート、出席、授業態度などをもって評価いたします。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		身体診察(ROMとMMT) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
2		身体診察(ROMとMMT) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
3		身体診察(ROMとMMT) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
4		身体診察(ROMとMMT) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
5		身体診察(ROMとMMT) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
6		身体診察(神経診察・可動域訓練) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
7		身体診察(神経診察・可動域訓練) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
8		身体診察(神経診察・可動域訓練) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
9		身体診察(神経診察・可動域訓練) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
10		身体診察(神経診察・可動域訓練) 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
12		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
13		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
14		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
15		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
16		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
17		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
18		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
19		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤
20		症例検討 臨床業務体験 物理刺激・物療機器		/	竹村・川口 ・伊藤

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		症例報告 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
22		症例報告 臨床業務体験		/	竹村・川口 ・伊藤
23		振り返り と まとめ課題		/	竹村・川口 ・伊藤
24				/	
25				/	
26				/	
27				/	
28				/	
29				/	
30				/	